

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式											
E112E006		国語表現法 (Expressions of Japanese)																	
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員													
必修	2	3	教育学部 平成31年度以前入学生 用			氏名 花坂歩、渡辺玄英、玉野井ちさと E-mail hanasaka-ayumu@oita-u.ac.jp 内線 7534													
授業の概要	音声言語と文字言語のそれぞれの特質を理解し、実践を通して、表現力の向上を目指す。																		
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
目標1 教育における言語の重要性を理解し、子どもをよりよい表現者に育てていこうという使命感、責任感、教育的愛情を醸成する。																			
目標2 国語における音声表現、文字表現の特質を理解し、それを活用することができる。																			
目標3 音声表現、文字表現の双方において、自主的・協同的に学び続けることができる。																			
目標4 学校が抱える種々の問題に対して、よりよい言語環境の構築という観点から 自分の考えを表現することができる。																			
目標5																			
目標6																			
目標7																			
目標8																			
目標9																			
目標10																			
授業の内容																			
1 現代社会における言語表現(1) <時代>																			
2 現代社会における言語表現(2) <社会>																			
3 現代社会における言語表現(3) <教育>																			
4 音声言語の特質と習熟(1) <呼吸>																			
5 音声言語の特質と習熟(2) <発声>																			
6 音声言語の特質と習熟(3) <発音>																			
7 音声言語の特質と習熟(4) <朗読>																			
8 音声言語の特質と習熟(5) <自己PR>																			
9 文字言語の特質と習熟(1) <リズム>																			
10 文字言語の特質と習熟(2) <形式>																			
11 文字言語の特質と習熟(3) <技法>																			
12 文字言語の特質と習熟(4) <創作>																			
13 文字言語の特質と習熟(5) <鑑賞>																			
14 総括・言語表現における芸術性(音声)																			
15 総括・言語表現における芸術性(文字)																			
ラーニング	A:知識の定着・確認	音声言語、文字言語について理論的に学んだ上で、スピーチ、創作活動などに取り組みながら、その特質を実践的に学ぶ。					工夫	その他の											
ニテ	B:意見の表現・交換																		
ンイ	C:応用志向																		
グ	D:知識の活用・創造																		
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	各回のテーマにしたがって情報の収集(原稿やスピーチの素材集め)に努めるなどする。(30h: 毎回2h程度)																	
	事後学修	体験を通した学びを振り返り、小レポートを作成するなどする。(30h: 毎回2h程度)																	
教科書	指定しない。																		
参考書	学修の実態に応じて、適宜、示す。																		
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10							
	小レポート	30%																	
	表現実技	70%																	
注意事項	なし																		
備考	なし																		
リンク																			
	URL																		